











JIL5004:2024(2025年版)改正のポイント

JIL5004:2024(2025年版)が(一社)日本照明工業会「公共施設用照明器具標準委員会」の承認を得て、2024年12月に改正発行されました。

1 改正器種一覧

JIL5004-2021 (2022年版)		JIL5004-2024 (2025年版)		
器 種		器 種	主な変更内容	
—	—	下面開放 	LRS3H-4-48 LRS3H-4-65	新器種追加
—	—	黒板灯 	LRS8H-4-43 LRS8H-4-58	新器種追加
—	—	下面開放 	LRS20H-4-48 LRS20H-4-65	新器種追加
複合天井システム  <small>確認外</small>	LRS28-6-30	複合天井システム  <small>確認外</small>	LRS28-6-39	形式変更
—	LRS28-6-46	—	LRS28-6-52	形式変更
複合天井システム  <small>確認外</small>	LRS29-6-28	複合天井システム  <small>確認外</small>	LRS29-6-39	形式変更
—	LRS29-6-43	—	LRS29-6-52	形式変更
—	—	笠なし型 	LSS1H-4-48 LSS1H-4-65	新器種追加
—	—	下面開放 	LSS6-4-25 LSS6-4-31 LSS6-4-41	新器種追加
—	—	—	LSS7H-4-38 LSS7H-4-56	新器種追加
—	—	—	LSS9H-4-48 LSS9H-4-65	新器種追加
—	—	—	LSS10H-4-48 LSS10H-4-65	新器種追加
—	—	—	LSS13H-4-45 LSS13H-4-62	新器種追加
—	LRS11R-17	—	—	中止
—	—	 <small>確認外</small>	LRS18-05 LRS18-12	新器種追加

JIL5004-2021 (2022年版)		JIL5004-2024 (2025年版)		
器 種		器 種	主な変更内容	
—	—	LSR1M-200 LSR1W-200 LSR1M-400 LSR1W-400 LSR1AM-170 LSR1AM-340	—	中止
—	—	 <small>確認外</small>	DS1-NK	新器種追加
—	—	 <small>確認外</small>	LRS3H-4-48(LC) LRS3H-4-65(LC)	新器種追加
—	—	 <small>確認外</small>	LSS9H-4-48(LC) LSS9H-4-65(LC)	新器種追加
—	—	 <small>確認外</small>	LSS10H-4-48(LC) LSS10H-4-65(LC)	新器種追加
—	—	 <small>確認外</small>	K0-LSS11	新器種追加
 <small>確認外</small>	SH1-FRF20P-A SH1-FRF21P-A SH1-FRF20P-A60 SH1-FRF21P-A60 SH1-FRF20PAF-BL60 SH1-FRF20PAF-BH60 SH1-FRF21PAF-BL60 SH1-FRF21PAF-BH60	—	—	中止
 <small>確認外</small>	ST1-FRF22P-A ST1-FRF23P-A ST1-FRF22P-A60 ST1-FRF23P-A60	—	—	中止
—	—	 <small>確認外</small>	LBF2RPS-10	新器種追加
 <small>確認外</small>	LSA1-03	 <small>確認外</small>	LSA1-06	形式変更
—	—	—	LSA1-13	形式変更

2 追加器種について

高効率ベースライト

ZEBへの取り組みのため,より高効率なLED照明器具を規格化。
主に事務室及び学校で使用されるLED照明器具を規格化。

LRS3H〈埋込み下面開放〉	LRS8H〈埋込み黒板灯〉
LRS20H〈埋込み下面開放〉	LSS1H〈笠なし(トラフ)〉
LSS7H〈教室用ベースライト〉	LSS9H〈V形〉
LSS10H〈V形〉	LSS13H〈じか付け黒板灯〉

直付け器具 (グレア分類G1b対応)

木材使用の推進に合わせ,木造建築に利用しやすいグレア抑制形照明器具の拡充と,既存施設の改修において事務室の蛍光灯器具の代替品。

形式・LSS6

仕様・グレア分類G1b
・発光面はグレア抑制形
・寸法35~60

器 種	光 束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	寸法 C	制御装置の種類	グレア分類
LSS6-4-25	2500以上 3000以下	23 以下	27 以下	125 以上	35~60	LN LX	G1b
LSS6-4-31	3100以上 3800以下	27 以下	31 以下				
LSS6-4-41	4100以上 4900以下	35 以下	41 以下			LN LX LC	

(摘要) 発光面は,グレア抑制形とする。

センサ (換気扇連動人感センサ)

小規模な施設のトイレ等で
用いる換気扇連動タイプを
規格化。

形式・NK 確認外

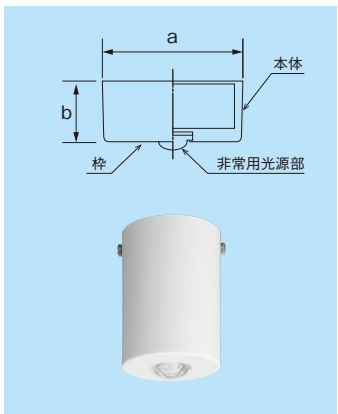


器 種		センサ		照明制御方式・内容	
		感知方式	感知範囲	制御方式・内容	その他仕様
DS1	NK	人感センサ (赤外線)	Φ4.0 以上	人感センサ制御装置・点滅形・換気扇連動形	照明器具用と換気扇用の出力端子を有すること 換気扇用の出力は100Vとする。
				・定格電圧は100Vとする ・LED照明器具を点滅制御し、換気扇を動作する ・人感センサが感知後、LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束で点灯させ、人感センサが感知されなくなつてから設定した時間後に消灯制御する。 ・人感センサが感知後、換気扇を動作させ、LED照明器具が消灯後、設定又は決められた時間で自動停止する。	

電源別置形じか付け非常用照明器具

木造施設等の埋込み形が使用
できない場所に使用できる
非常用照明器具を規格化。

形式・K0-LSS11 確認外



下表a,bはそれぞれ幅、高さを指す。

器 種	材質		寸法 (mm)	
	本体及び枠	非常用光源部	a	b
K0-LSS11	SPC ADC A1P	ガラス	165 以下	120 以下

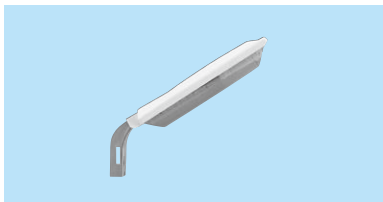
- (摘要) 1. JIL 5501 (非常用照明器具技術基準)の専用形非常用照明器具とする。
2. 定格入力電圧は,AC100/ DC100V兼用とする。

防犯灯 (自動点滅機能付追加)

明るさを検知し自動点滅
することで省エネが実現
可能な防犯灯を規格化。
(青文字部が追加箇所)

形式・LBF2RPS 確認外

仕様・自動点滅機能付



器 種	光 束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LBF2RP-10	1000以上	11 以下	12 以下	115 以上	LN
LBF2RPS-10					

- (摘要) 1.自動点滅機能を有し,日中の点灯を防止する。
2.自動点滅機能は,日本照明工業会ガイドA137-3 (高品質LED防犯灯の性能要求指針)の3.3.7 (自動点滅性能)のa)による。

ガイドA137-3 3.3.7 自動点滅性能
a)自動点滅機能を備える照明器具は,5 lx~100 lxにて点灯し,点灯照度の5倍以下にて消灯しなければならない。

3 主な改正器種について

グリッドシステム天井（光束適正化）

算出照度が750 lx～1000 lxを満足しない場合があるため
光束の適正化。

LRS28
確認外



LRS29
確認外

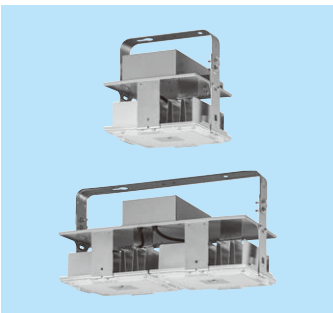


角形高天井器具（非調光追加）

光源の光束維持率が向上し、
初期照度補正機能による省エネ
効果が少なくなったため非調光
を追加。

形式・LSR2M、LSR2W、LSR2AM

- 仕様・光源の光束維持率0.85以上
・制御装置の種類にLN（非調光）
を追加
・LJ（初期照度補正）は（摘要）に
て適合である旨記載



センサ（人感センサ仕様追加）

人感センサに、消灯設定が
できる機能を追加。
（青文字部が追加箇所）

形式・AN、NT



DS1

DS2

器種	センサ		照明制御方式・内容
	感知方式	設置高さ 2.5m～3.0m における 感知範囲 (m)	
DS1 DS2	A	明るさセンサ φ2.5以上	明るさセンサ制御装置・連続調光形 ・LED照明器具に調光信号を送出し制御する。 ・明るさセンサが感知した照度に応じて、LED照明 器具を定格消費電力で点灯する光束から内蔵さ れるLED制御装置の調光下限光束まで連続して 調光制御する。
	AN	明るさセンサ φ2.5以上 人感センサ φ4.0以上	明るさセンサ・人感センサ制御装置・連続調光形 ・LED照明器具に調光信号を送出し制御する。 ・明るさセンサが感知した照度に応じて、LED照明 器具を定格消費電力で点灯する光束から内蔵さ れるLED制御装置の調光下限光束まで連続して 調光制御する。 ・人感センサが感知後、設定された明るさでLED 照明器具を点灯させ、人感センサが感知されな くってから設定された時間で、定格消費電力で 点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下 限光束まで連続して調光制御する。 ・調光下限光束に減光後、引き続き人感センサが感知 されない場合に、設定した時間で消灯制御する。 ただし、設定した場合に限る。
	NT	人感センサ φ4.0以上	人感センサ制御装置・段調光形 ・LED照明器具に調光信号を送出し制御する。 ・人感センサが感知後、LED照明器具を定格消費電力 で点灯する光束で点灯させ、人感センサが感知さ れなくなしてから設定された時間で、定格消費電力 で点灯する光束に対して内蔵されるLED制御方式 の調光下限光束まで調光制御する。 ・調光下限光束に減光後、引き続き人感センサが感知 されない場合に、設定した時間で消灯制御する。 ただし、設定した場合に限る。
	N	人感センサ φ4.0以上	人感センサ制御装置・点滅形 ・LED照明器具を点滅制御する。 ・人感センサが感知後、LED照明器具を定格消費電力 で点灯する光束で点灯させ、人感センサが感知さ れなくなしてから設定された時間後に消灯制 御する。

個別照明制御システム（微動検知人感センサ見直し）

感知範囲を拡大し、それに伴い
制御エリア数を増加。

（青文字部が改正箇所）

形式・NC 確認外

仕様・感知範囲：7.2mX7.2m、
制御エリア数：8以上



DS1

器 種		センサ		照明制御方式・内容	
		感知方式	感知範囲	制御方式・内容	その他仕様
DS1	NC	微動検知 人感センサ (赤外線、画像 認識など)	7.2× 7.2m 以上	人感センサ・明るさセンサ制御装置・ 個別照明制御システム適合形 ・感知範囲内の明るさと制御エリア毎 に微動を検知して調光制御する。 ・個別通信制御連続調光形(LC)に対応 するLED照明器具に個別通信信号を 送出し制御する。※2 ・明るさセンサが感知した照度に応じて、 LED照明器具を定格消費電力で点灯 する光束から内蔵されるLED制御装置 の調光下限光束まで連続して調光制御 する。 ・微動検知人感センサが感知後、設定 した明るさでLED照明器具を点灯させ、 感知されなくなってから設定された 時間で、定格消費電力で点灯する光束 から内蔵されるLED制御装置の調光 下限光束まで連続して調光制御する。	制御エリア数・ 8以上 最小制御範囲： 1.8×3.6m以下
		明るさセンサ (照度)			

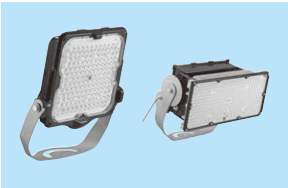
（摘要）5.微動検知人感センサは、感知範囲、制御エリア数及び最小制御範囲の要件を
満足するものとし、1台のセンサで要件を満たさない場合は、センサを複数台
用いて対応しても良い

投光器（非調光追加）

光源の光束維持率が向上し、初期照度補正機能による省エネ効果
が少なくなったため非調光を追加。

形式・LPJ1N、LPJ1M、LPJ1W 確認外

- 仕様・光源の光束維持率0.85以上
・制御装置の種類にLN（非調光）を
追加
・LJ（初期照度補正）は（摘要）にて
適合である旨記載



その他 屋外器具（街路灯・駐車場灯）の
初期照度補正は、光源の光束維
持率が0.85を満足しないため継
続とする。



ソーラーライト（高光束化）

2022年版の300lmタイプでは
暗いため高光束タイプへ変更。

形式・LSA1 確認外

- 仕様・光束変更と器種追加
・光束変更による器種名変更

（一社）日本照明工業会
評価 JIL 5510
ソーラーライト

器 種	光 束 (lm)	制 御 装 置 の 種 類
LSA1-06	600以上	LN
LSA1-13	1300以上	



（摘要）1. JIL 5510（屋外用非常灯及びソーラーライト技術基準）による
ソーラーライトとする。
4.点灯開始から一定時間経過後に減光制御してもよい。
（全光での点灯は4時間以上とし、減光後の光束は350 lm以上。）